

令和5年度環境経営レポート

(対象期間:令和5年4月～令和6年3月)



作成:令和 6 年 6 月 20日

改訂:令和 6 年 10 月 7日

 畑中建設工業株式会社

目 次

- I. 組織の概要
- II. 対象範囲
- III. 環境経営方針
- IV. 環境経営目標
- V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
- VI. 実施体制
- VII. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
- VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反、訴訟等の有無
- IX. 代表者による全体評価と見直しの結果

I. 組織の概要

1. 名称及び代表者名

畑中建設工業株式会社
代表取締役社長 畑中 武久

2. 所在地

本 社 〒031-0071
青森県八戸市沼館4丁目6番6号
TEL 0178-43-2332
FAX 0178-45-3828

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 河原木 健之
環境事務局長 工務部 岩澤 靖孝
連絡先 TELとFAXは本社と同じ

4. 事業活動の内容

特定建設業 青森県知事許可（特－ 3）第1198号
土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業
鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業
水道施設工事業 解体工事業

5. 事業規模

活動規模	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	百万円	558	957	819
従業員	人	36	35	34
延べ床面積	m ²	861.70	861.70	861.70

II. 対象範囲

1. 登録組織

畑中建設工業株式会社 全組織、全活動
活動範囲は、本社、資材倉庫及び建設現場となります。

2. レポートの対象期間

今回の環境経営レポートは、令和5年4月から令和6年3月までの活動実績について報告いたします。

Ⅲ. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

＜ 環 境 理 念 ＞

畑中建設工業株式会社は、顧客満足度の向上、法令・規制要求事項及び顧客要求事項の遵守に努めることで、社会貢献を目指している企業であります。そこで弊社が今後とも事業活動を継続していくにあたって、経営の中に環境への取組を位置付け、経営における課題とチャンスをつまえた環境経営を行います。より地域社会に貢献できるよう、継続的改善を行いながら、成長する組織を目指し、全従業員一丸となって地域及び環境へ与える負荷を考慮し、環境保全活動を積極的に取り組むことを決意します。

＜環境保全への行動指針＞

- 1、地球温暖化防止のために、二酸化炭素の排出削減を推進します。
- 2、限りある資源を有効活用するため、廃棄物削減と資源の有効利用を推進します。
- 3、水資源の有効活用のために、水使用量の削減に取り組みます。
- 4、使用資材の化学物質を適正に管理します。
- 5、地域の環境保全に資するために、環境に配慮した建設事業活動に努めます。
- 6、環境に関する法規制を遵守します。
- 7、環境方針は、全従業員に周知徹底します。
- 8、作業環境、労働環境の整備に努めます。

制定日 ： 平成24年 4月23日

改訂日 ： 令和 2年 4月20日

畑 中 建 設 工 業 株 式 会 社

代表取締役社長 畑 中 武 久

IV. 環境経営目標

1. 主な環境負荷の実績

過去の環境負荷の実績データは令和3年度から令和5年度までの3年分となっております。

表1. 主な環境負荷等の実績

【会社全体】

項目	単位	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	基準年 (※2)	令和5年度 (実績)
二酸化炭素排出量(※1)	kgCO ₂	663,296	380,809	619,384	330,305
電力	kwh	91,527	78,909	84,547	65,251
灯油	L	11,026	15,006	15,623	10,554
LPG	kg	4,032	4,130	4,855	4,647
A重油	L	27,460	29,070	39,915	20,305
ガソリン	L	39,710	36,236	47,776	36,343
軽油	L	158,728	49,262	117,387	45,251
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	670	680	714	704
産業廃棄物排出量	t	4,155	1,268	1,585	56
水使用量					
水道水	m ³	2,691	1,737	2,604	283

※1. 購入電力の排出係数は、2018年12月27日 環境省・経済産業省公表
東北電力㈱の排出係数 0.521kg-CO₂/kWh (2017年度値) を使用している。

※2. 基準年は、2018～2020年度までの3年間の平均値としている。

【会社全体】



【 本 社 】

項 目	単 位	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	基準年 (※2)	令和5年度 (実績)
二酸化炭素排出量(※1)	kgCO ₂	127,803	118,896	141,626	127,016
電力	kwh	58,725	54,656	54,692	56,267
灯油	L	0	511	0	777
L P G	kg	3,550	4,048	4,694	4,625
A重油	L	0	0	0	0
ガソリン	L	35,696	31,162	40,132	32,668
軽油	L	1,450	1,824	2,304	2,365
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	670	680	714	704
産業廃棄物排出量	t	0	0	0	0
水使用量					
水道水	m ³	307	287	263	280

【 建 設 現 場 】

項 目	単 位	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	基準年 (※2)	令和5年度 (実績)
二酸化炭素排出量(※1)	kgCO ₂	535,493	261,913	478,102	203,289
電力	kwh	32,802	24,253	29,855	8,984
灯油	L	11,026	14,495	15,623	9,777
L P G	kg	481	82	162	21
A重油	L	27,460	29,070	39,915	20,305
ガソリン	L	4,014	5,074	7,644	3,675
軽油	L	157,278	47,438	115,216	42,886
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	0	0	0	0
産業廃棄物排出量	t	4,155	1,268	1,585	56
水使用量					
水道水	m ³	2,384	1,450	2,342	3

2. 環境経営目標の設定

当社では、2018年度（平成30年度）～2020年度（令和2年度）までの平均値を基準値とし、令和5年度までの中長期及び単年度の環境経営目標を、表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

令和5年度は、基準年度比で、二酸化炭素排出量については各々3%の削減、廃棄物排出量については一般・産業廃棄物共に3%の削減、水使用量については3%の削減を目標にしています。

表2. 環境経営目標

【 会 社 全 体 】 基準年度比の削減率（％）					
項 目	単位	基準年度 基準値（平均値）	目標値		
			2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度
(二酸化炭素排出量の削減)					
電力の削減	kwh	2018～2020年度 84,547	1％削減	2％削減	3％削減
灯油の削減	L	2018～2020年度 15,623	1％削減	2％削減	3％削減
L P G の削減	kg	2018～2020年度 4,855	1％削減	2％削減	3％削減
A重油の削減	L	2018～2020年度 39,915	1％削減	2％削減	3％削減
ガソリンの削減	L	2018～2020年度 47,776	1％削減	2％削減	3％削減
軽油の削減	L	2018～2020年度 117,387	1％削減	2％削減	3％削減
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	2018～2020年度 619,384	1％削減	2％削減	3％削減
(廃棄物排出量の削減)					
一般廃棄物の削減	kg	2018～2020年度 714	1％削減	2％削減	3％削減
産業廃棄物の削減	t	2018年度 1,585	1％削減	2％削減	3％削減
再資源化率の増加	％	2018年度 98	98％以上	98％以上	98％以上
(水使用量の削減)					
水道水の削減	m ³	2018～2020年度 2,604	1％削減	2％削減	3％削減
(化学物質)					
化学物質の管理推進			【行動目標】 化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
(自らが施工・販売・提供する製品及びサービス)					
環境に配慮した施工の推進			【行動目標】建設現場において、環境に配慮した施工を推進する。		

【 本 社 】 基準年度比の削減率（％）

項 目	単位	基準年度 基準値（平均値）	目標値		
			2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
(二酸化炭素排出量の削減)					
電力の削減	kwh	2018～2020年度 54,692	1 %削減	2 %削減	3 %削減
灯油の削減	L	2022年度 511	—	—	3 %削減
L P G の削減	kg	2018～2020年度 4,694	1 %削減	2 %削減	3 %削減
A 重油の削減	L	2018～2020年度 0	—	—	—
ガソリンの削減	L	2018～2020年度 40,132	1 %削減	2 %削減	3 %削減
軽油の削減	L	2018～2020年度 2,304	1 %削減	2 %削減	3 %削減
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	2018～2020年度 141,626	1 %削減	2 %削減	3 %削減
(廃棄物排出量の削減)					
一般廃棄物の削減	kg	2018～2020年度 714	1 %削減	2 %削減	3 %削減
産業廃棄物の削減	t	2018年度 0	—	—	—
再資源化率の増加	%	2018年度 —	—	—	—
(水使用量の削減)					
水道水の削減	m ³	2018～2020年度 263	1 %削減	2 %削減	3 %削減
(化学物質)					
化学物質の管理推進			【行動目標】 化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
(自らが施工・販売・提供する製品及びサービス)					
環境に配慮した施工の推進			【行動目標】建設現場において、環境に配慮した施工を推進する。		

【 建 設 現 場 】 基準年度比の削減率（％）

項 目	単位	基準年度	目標値		
		基準値（平均値）	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度
(二酸化炭素排出量の削減)					
電力の削減	kwh	2018～2020年度 29,855	1 %削減	2 %削減	3 %削減
灯油の削減	L	2018～2020年度 15,623	1 %削減	2 %削減	3 %削減
L P G の削減	kg	2018～2020年度 162	1 %削減	2 %削減	3 %削減
A重油の削減	L	2018～2020年度 39,915	1 %削減	2 %削減	3 %削減
ガソリンの削減	L	2018～2020年度 7,644	1 %削減	2 %削減	3 %削減
軽油の削減	L	2018～2020年度 115,216	1 %削減	2 %削減	3 %削減
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	2018～2020年度 478,102	1 %削減	2 %削減	3 %削減
(廃棄物排出量の削減)					
一般廃棄物の削減	kg	2018～2020年度 0	—	—	—
産業廃棄物の削減	t	2018年度 1,585	1 %削減	2 %削減	3 %削減
再資源化率の増加	%	2018年度 98	98%以上	98%以上	98%以上
(水使用量の削減)					
水道水の削減	m ³	2018～2020年度 2,342	1 %削減	2 %削減	3 %削減
(化学物質)					
化学物質の管理推進			【行動目標】 化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
(自らが施工・販売・提供する製品及びサービス)					
環境に配慮した施工の推進			【行動目標】 建設現場において、環境に配慮した施工を推進する。		

V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

当社では、環境経営方針に基づき二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量を削減し、環境経営目標を達成するために、全従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び水使用量の削減等に取り組んでおります。

表 3. 主な環境経営計画の内容

【 本 社 】

環境目標項目	取 組 内 容
二酸化炭素排出量の削減 （電力の削減） （LPGの削減） （ガソリンの削減） （軽油の削減）	・ 不必要な照明の消灯励行。 ・ パソコン・コピー機エコモードの設定。 ・ 空調設備の管理の徹底（冷房28℃, 暖房20℃程度） ・ 扇風機・ブラインドの活用。 ・ エコ運転の励行。 ・ 適正な車輛整備の実施。 ・ 最大積載量に見合った輸送単位の設定。 ・ タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正を保つ。 ・ 低燃費車、ハイブリッド車への転換。
廃棄物排出量の削減 （一般廃棄物の削減）	・ 会議用資料の簡素化。 ・ 両面コピー、ペーパーレス化等による紙使用量の削減。 ・ 使用済み用紙の裏紙の利用。 ・ 分別容器の設置とごみの分別の徹底。 ・ コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルの推進。 ・ P C 設定、部数の確認等によるミสปrintの削減。
水使用量の削減 （水道水の削減）	・ 節水表示を行い、節水を呼びかける。 ・ 水道配管からの漏水の定期点検。 ・ 蛇口の水漏れがないか確認する。 ・ 水道水を出しっぱなしにしたり、流しながら使用しない。 ・ 洗い物はまとめて行う。
自らが施工・販売・提供する 製品及びサービス （環境に配慮した製品使用の推進）	・ 再生材料から作られた製品の優先的な購入、使用。 ・ コピー用紙等の紙について、再生紙の利用の促進。 ・ 環境ラベル認定製品の優先的な購入、使用。

【 建 設 現 場 】

環境目標項目	取 組 内 容
二酸化炭素排出量の削減 （電力の削減） （灯油の削減） （LPGの削減） （A重油の削減） （ｶﾞｿﾘﾝの削減） （軽油の削減）	・排出ガス対策型建設機械の使用。 ・建設機械の各種点検整備の実施。 ・エコ運転の励行。 ・適正な車輛整備の実施。 ・最大積載量に見合った輸送単位の設定。 ・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正を保つ。 ・低燃費車、ハイブリッド車への転換。 ・不必要な照明の消灯励行。 ・パソコン・コピー機エコモードの設定 ・空調設備の管理の徹底（冷房28℃, 暖房20℃程度）
廃棄物排出量の削減 （産業廃棄物の削減） （再資源化率の増加）	・分別容器の設置とごみの分別の徹底。 ・廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理。 ・建設副産物の削減、再利用、分別、リサイクルに取り組む。 ・一般廃棄物が混載しないように定期的にチェックする。 ・廃棄物の中間処理場等を定期的に直接チェックする。 ・適切な建設廃棄物処理業者の選定。
水使用量の削減 （水道水の削減）	・節水表示を行い、節水を呼びかける。 ・水道配管からの漏水の定期点検。 ・蛇口の水漏れがないか確認する。 ・水道水を出しっぱなしにしたり、流しながら使用しない。
化学物質使用量 （化学物質の管理推進）	・建設現場における化学物質使用量は必要最小限とし、保管は原則行わない。 ・建設現場使用する有害性化学物質の流出防止対策の徹底。 ・S D S の発行依頼と内容の確認、保管。 ・化学物質の種類、使用量、PRTR物質等の管理。
自らが施工・販売・提供する 製品及びサービス （環境に配慮した製品使用の推進）	・建設現場における事前環境調査の実施及び対策の実施。 ・建設現場において、環境に配慮した施工の推進。 （排出ガス対策型、低騒音・低振動建設機械の使用等） ・再生材料から作られた製品の優先的な購入、使用。 ・重機・車両の定期点検整備の実施

VI. 実施体制

(1) 事業者名及び代表者名

畑中建設工業株式会社 代表取締役社長 畑中 武久

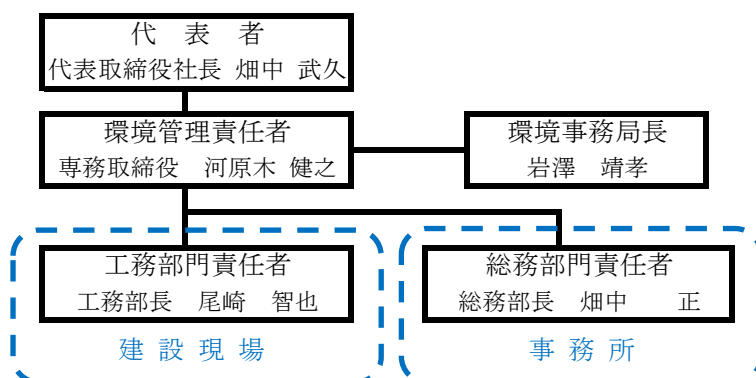
(2) 所在地

本社 青森県八戸市沼館四丁目 6 番 6 号

(3) 事業内容

建設業

(4) E A 2 1 の対象範囲



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（代表取締役社長） 畑中 武久	- 環境経営に関する統括責任。 - 環境経営システムの実施に必要な資源の提供。 - 環境管理責任者を任命。 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知。 - 環境経営目標・環境経営計画書、環境経営レポートの承認。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施。 - 経営における課題とチャンスの明確化。
環境管理責任者 河原木 健之	- 環境経営システムの構築、実施、管理。 - 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェック表の承認。 - 環境経営目標・環境経営計画書、環境経営レポートの確認。 - 環境経営計画の取組結果を代表者へ報告。
環境事務局長 岩澤 靖孝	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 - 環境経営計画の実績集計。 - 環境関連法規等取りまとめ及び遵守状況チェック表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ及び遵守状況チェック表に基づく遵守評価の実施。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 環境経営レポートの作成。
部門責任者 尾崎 智也 畑中 正	所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。 - 環境経営方針の部内への周知。 - 教育訓練の実施。 - 環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 - 緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成。 - 問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

VII. 環境経営目標及び環境活動計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1. 環境経営目標の実績

今回は、エコアクション21の活動を実施した令和5年度（令和5年4月から令和6年3月まで）の実績についての評価結果を報告いたします。

各項目の環境経営目標の達成状況は下記の表4のとおりの結果となりました。

令和6年度は新たな中長期環境経営目標を設定し、引き続き環境経営計画の取組内容の実施徹底を図りながら、毎月の実績値の推移を観察し、実績データの収集・分析を行い、環境経営目標の達成に向けて取組んでいきます。

表4. 当該年度の環境経営目標の達成状況（令和5年4月から令和6年3月まで）

【会社全体】

項目	単位	基準年	削減率 (増加率)	R5年度 目標値	R5年度 実績値	目標の 達成状況	備考
(二酸化炭素排出量削減)							
電力の削減	kwh	84,547	3%削減	82,011	65,251	達成	20.4%減
灯油の削減	L	15,623	3%削減	15,154	10,554	達成	30.4%減
LPGの削減	kg	4,855	3%削減	4,709	4,647	達成	1.3%減
A重油の削減	L	39,915	3%削減	38,718	20,305	達成	47.6%減
ガソリンの削減	L	47,776	3%削減	46,343	36,343	達成	21.6%減
軽油の削減	L	117,387	3%削減	113,865	45,251	達成	60.3%減
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	619,384	3%削減	600,802	330,305	達成	45.0%減
(廃棄物排出量削減)							
一般廃棄物の削減	kg	714	3%削減	693	704	未達成	1.6%増
産業廃棄物の削減	t	1,585	3%削減	1,537	56	達成	96.4%減
再資源化率の増加	%	98	98%以上	98%以上	64.7	未達成	33.3%減
(水使用量削減)							
水道水の削減	m ³	2,604	3%削減	2,526	283	達成	88.8%減

【 本 社 】

項 目	単 位	基準年	削減率 (増加率)	R5年度 目標値	R5年度 実績値	目標の 達成状況	備 考
(二酸化炭素排出量削減)							
電力の削減	kwh	54,692	3%削減	53,051	56,267	未達成	6.1%増
灯油の削減	L	511	3%削減	496	777	未達成	56.7%増
L P G の削減	kg	4,694	3%削減	4,553	4,625	未達成	1.6%増
A 重油の削減	L	0	—	—	—	—	—
ガソリンの削減	L	40,132	3%削減	38,928	32,668	達成	16.1%減
軽油の削減	L	2,304	3%削減	2,235	2,365	未達成	5.8%増
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	141,626	3%削減	137,377	127,016	達成	7.5%減
(廃棄物排出量削減)							
一般廃棄物の削減	kg	714	3%削減	693	704	未達成	1.6%増
産業廃棄物の削減	t	0	—	—	—	—	—
再資源化率の増加	%	—	—	—	—	—	—
(水使用量削減)							
水道水の削減	m ³	263	3%削減	255	280	未達成	9.8%増

【 建 設 現 場 】

項 目	単 位	基準年	削減率 (増加率)	R5年度 目標値	R5年度 実績値	目標の 達成状況	備 考
(二酸化炭素排出量削減)							
電力の削減	kwh	29,855	3%削減	28,959	8,984	達成	69.0%減
灯油の削減	L	15,623	3%削減	15,154	9,777	達成	35.5%減
L P G の削減	kg	162	3%削減	157	21	達成	86.6%減
A 重油の削減	L	39,915	3%削減	38,718	20,305	達成	47.6%減
ガソリンの削減	L	7,644	3%削減	7,415	3,675	達成	50.4%減
軽油の削減	L	115,216	3%削減	111,760	42,886	達成	61.6%減
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	478,102	3%削減	463,759	203,289	達成	56.2%減
(廃棄物排出量削減)							
一般廃棄物の削減	kg	0	—	—	—	—	—
産業廃棄物の削減	t	1,585	3%削減	1,537	56	達成	96.4%減
再資源化率の増加	%	98	98%以上	98%以上	64.7	未達成	33.3%減
(水使用量削減)							
水道水の削減	m ³	2,342	3%削減	2,272	3	達成	99.9%減

《 環境活動の状況 》

本社会議状況



建設現場での教育状況



ボランティア活動（水辺サポーター）



産業廃棄物 分別状況



普通救命講習



災害時避難訓練状況



2. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価

表5. 主な環境経営計画の実績・取組結果とその評価

【会社全体】

環境目標項目		実施状況 の評価	取組結果とその評価
二酸化炭素 排出量の削減	電力の削減	○	(目標は達成されている) 建設現場における仮設備の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	灯油の削減	○	(目標は達成されている) 建設現場における仮設備の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	LPGの削減	○	(目標は達成されている) 取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	A重油の削減	○	(目標は達成されている) 港湾工事に伴う作業船の稼働の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	ガソリンの削減	○	(目標は達成されている) 建設現場における小型機械の稼働の減少及び社用車等の使用時の取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	軽油の削減	○	(目標は達成されている) 建設現場における重機の稼働の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	二酸化炭素排出量の削減	○	(目標は達成されている) エネルギー6項目(電力、灯油、LPG、A重油、ガソリン、軽油)の使用量削減について、全ての項目において目標が達成されたのに伴い、二酸化炭素排出量も削減され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き排出量の削減に努める。

廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	△	(目標は未達成である) 基準値を下回ったが、目標の削減率に至らず、目標達成とはならなかった。 取組内容の実施状況は評価できる状況のため、引き続き取組内容の徹底を図り、排出量の削減に努める。
	産業廃棄物の削減	○	(目標は達成されている) がれき類を撤去する工事の受注件数減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き排出量の削減に努める。
	再資源化率の増加	△	(目標は未達成である) がれき類を撤去する工事の受注件数減少により再生率が減少し、目標達成に至らなかった。 取組内容の実施状況は評価できる状況のため、引き続き取組内容の徹底を図り、再資源化率の増加に努める。
水使用量	水道水の削減	○	(目標は達成されている) 地盤改良工事受注件数の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
科学物質	化学物質の管理推進	○	化学物質については「化学物質を適正に管理し、定期的に確認する」を行動目標として取組を推進している。 今後も化学物質を適正に管理し、取組内容の徹底を図っていく。
製品及びサービス	環境に配慮した施工の推進	○	製品及びサービスについては、「建設現場において、環境に配慮した施工を推進する」を行動目標として取組を推進している。 今後も事前環境調査及び対策を実施しながら施工を推進し、取組内容の徹底を図っていく。

【 本 社 】

環境目標項目		実施状況 の評価	取組結果とその評価
二酸化炭素 排出量の削減	電力の削減	△	(目標は未達成である) 気象状況により夏期と冬期に使用量が増大し、目標達成に至らなかった。 取組内容の実施状況は評価できる状況のため、引き続き取組内容の徹底を図り、使用量の削減に努める。
	軽油の削減	△	(目標値は未設定である) 近年実績値が発生していなかったため、令和4年度実績値のみを基準値として目標設定を行ったが、目標達成に至らなかった。 引き続き実績データの経過を観察しながら、取組内容の徹底を図り、使用量の削減に努める。
	L P G の削減	△	(目標は未達成である) 基準値を下回ったが、目標の削減率に至らず、目標達成とはならなかった。 取組内容の実施状況は評価できる状況のため、引き続き取組内容の徹底を図り、使用量の削減に努める。
	ガソリンの削減	○	(目標は達成されている) 社用車等の使用時の取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	軽油の削減	△	(目標は未達成である) 実績がほぼ基準値と同じになり、目標の削減率に至らず、目標達成とはならなかった。 取組内容の実施状況は評価できる状況のため、引き続き取組内容の徹底を図り、使用量の削減に努める。
	二酸化炭素排出量の削減	○	(目標は達成されている) 未達成の項目が多い中、取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き排出量の削減に努める。
廃棄物の削減 排出量	一般廃棄物の削減	△	(目標は未達成である) 基準値を下回ったが、目標の削減率に至らず、目標達成とはならなかった。 取組内容の実施状況は評価できる状況のため、引き続き取組内容の徹底を図り、排出量の削減に努める。
水使用量	水道水の削減	△	(目標は未達成である) 昨年度より使用量は削減されてはいるが、会社の設備を維持する作業において、使用量が増大したことが要因となり、目標達成に至らなかった。 取組内容の実施状況は評価できる状況のため、引き続き取組内容の徹底を図り、使用量の削減に努める。

科学物質	化学物質の管理推進	○	化学物質については「化学物質を適正に管理し、定期的に確認する」を行動目標として取組を推進している。 今後も化学物質を適正に管理し、取組内容の徹底を図っていく。
製品・サービス	環境に配慮した施工の推進	○	製品及びサービスについては、「環境改善に資する資材・サービスの購入・使用を推進する」を行動目標として取組を推進している。 今後も事務用品は環境ラベル表示製品を優先的に購入を推進し、取組内容の徹底を図っていく。

【建設現場】

環境目標項目		実施状況の評価	取組結果とその評価
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減	○	(目標は達成されている) 建設現場における仮設備の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	灯油の削減	○	(目標は達成されている) 建設現場における仮設備の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	LPGの削減	○	(目標は達成されている) 取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	A重油の削減	○	(目標は達成されている) 港湾工事に伴う作業船の稼働の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	ガソリンの削減	○	(目標は達成されている) 建設現場における小型機械の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	軽油の削減	○	(目標は達成されている) 建設現場における重機の稼働の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
	二酸化炭素排出量の削減	○	(目標は達成されている) エネルギー6項目(電力、灯油、LPG、A重油、ガソリン、軽油)の使用量削減について、全ての項目において目標が達成されたのに伴い、二酸化炭素排出量も削減され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き排出量の削減に努める。

廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の削減	○	(目標は達成されている) がれき類を撤去する工事の受注件数減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き排出量の削減に努める。
	再資源化率の増加	△	(目標は未達成である) がれき類を撤去する工事の受注件数減少により再生率が減少し、目標達成に至らなかった。 取組内容の実施状況は評価できる状況のため、引き続き取組内容の徹底を図り、再資源化率の増加に努める。
水使用量	水道水の削減	○	(目標は達成されている) 地盤改良工事受注件数の減少及び取組内容の実施が徹底され、目標達成に至った。 今後も取組内容の徹底を図り、引き続き使用量の削減に努める。
科学物質	化学物質の管理推進	○	化学物質については「化学物質を適正に管理し、定期的に確認する」を行動目標として取組を推進している。 今後も化学物質を適正に管理し、取組内容の徹底を図っていく。
製品及びサービス	環境に配慮した施工の推進	○	製品及びサービスについては、「建設現場において、環境に配慮した施工を推進する」を行動目標として取組を推進している。 今後も事前環境調査及び対策を実施しながら施工を推進し、取組内容の徹底を図っていく。

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

3. 次年度(令和6年度)の環境経営目標の設定

当社では、2021年度(令和3年度)～2023年度(令和5年度)までの平均値を基準値とし、令和6年度～令和8年度までの中長期及び単年度の環境経営目標を設定し、環境活動に取り組んでおります。

令和6年度は、中長期目標の初年度となり基準年度比で、各項目において削減率1%を目標値としています。

表6. 令和6年度～令和8年度の環境経営目標

【 会 社 全 体 】					
項 目	単位	基準年度 基準値（平均値）	目標値		
			2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度
(二酸化炭素排出量の削減)					
電力の削減	kwh	2021～2023年度 78,562	1%削減 77,777	2%削減 76,991	3%削減 76,205
灯油の削減	L	2021～2023年度 12,195	1%削減 12,073	2%削減 11,951	3%削減 11,829
L P G の削減	kg	2021～2023年度 4,269	1%削減 4,227	2%削減 4,184	3%削減 4,141
A重油の削減	L	2021～2023年度 25,612	1%削減 25,356	2%削減 25,099	3%削減 24,843
ガソリンの削減	L	2021～2023年度 37,430	1%削減 37,055	2%削減 36,681	3%削減 36,307
軽油の削減	L	2021～2023年度 84,414	1%削減 83,570	2%削減 82,726	3%削減 81,881
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	2021～2023年度 455,151	1%削減 450,600	2%削減 446,048	3%削減 441,497
(廃棄物排出量の削減)					
一般廃棄物の削減	kg	2021～2023年度 685	1%削減 678	2%削減 671	3%削減 664
産業廃棄物の削減	t	2021～2023年度 1,826	1%削減 1,808	2%削減 1,790	3%削減 1,771
再資源化率の増加	%	2021～2023年度 99	99%以上	99%以上	99%以上
(水使用量の削減)					
水道水の削減	m ³	2021～2023年度 1,570	1%削減 1,555	2%削減 1,539	3%削減 1,523
(化学物質)					
化学物質の管理推進			【行動目標】 化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
(自らが施工・販売・提供する製品及びサービス)					
環境に配慮した施工の推進			【行動目標】建設現場において、環境に配慮した施工を推進する。		

【 本 社 】

項 目	単位	基準年度 基準値（平均値）	目標値		
			2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度
(二酸化炭素排出量の削減)					
電力の削減	kwh	2021～2023年度 56,549	1%削減 55,984	2%削減 55,418	3%削減 54,853
灯油の削減	L	2023年度 777	1%削減 769	2%削減 761	3%削減 753
L P G の削減	kg	2021～2023年度 4,075	1%削減 4,034	2%削減 3,993	3%削減 3,952
A重油の削減	L	2021～2023年度 0	— —	— —	— —
ガソリンの削減	L	2021～2023年度 33,175	1%削減 32,844	2%削減 32,512	3%削減 32,180
軽油の削減	L	2021～2023年度 1,880	1%削減 1,861	2%削減 1,842	3%削減 1,823
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	2021～2023年度 122,423	1%削減 121,199	2%削減 119,974	3%削減 118,750
(廃棄物排出量の削減)					
一般廃棄物の削減	kg	2021～2023年度 685	1%削減 678	2%削減 671	3%削減 664
産業廃棄物の削減	t	2021～2023年度 0	— —	— —	— —
再資源化率の増加	%	2021～2023年度 —	—	—	—
(水使用量の削減)					
水道水の削減	m ³	2021～2023年度 291	1%削減 288	2%削減 286	3%削減 283
(化学物質)					
化学物質の管理推進			【行動目標】 化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
(自らが施工・販売・提供する製品及びサービス)					
環境に配慮した施工の推進			【行動目標】建設現場において、環境に配慮した施工を推進する。		

【建設現場】

項 目	単位	基準年度	目標値		
		基準値（平均値）	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度
(二酸化炭素排出量の削減)					
電力の削減	kwh	2021～2023年度 22,013	1%削減 21,793	2%削減 21,573	3%削減 21,353
灯油の削減	L	2021～2023年度 11,766	1%削減 11,648	2%削減 11,530	3%削減 11,413
L P G の削減	kg	2021～2023年度 195	1%削減 193	2%削減 191	3%削減 189
A重油の削減	L	2021～2023年度 25,612	1%削減 25,356	2%削減 25,099	3%削減 24,843
ガソリンの削減	L	2021～2023年度 4,254	1%削減 4,212	2%削減 4,169	3%削減 4,127
軽油の削減	L	2021～2023年度 82,534	1%削減 81,709	2%削減 80,883	3%削減 80,058
二酸化炭素排出量の削減	kgCO2	2021～2023年度 332,728	1%削減 329,401	2%削減 326,074	3%削減 322,747
(廃棄物排出量の削減)					
一般廃棄物の削減	kg	2021～2023年度 0	— —	— —	— —
産業廃棄物の削減	t	2021～2023年度 1,826	1%削減 1,808	2%削減 1,790	3%削減 1,771
再資源化率の増加	%	2021～2023年度 99	99%以上	99%以上	99%以上
(水使用量の削減)					
水道水の削減	m³	2021～2023年度 1,279	1%削減 1,266	2%削減 1,253	3%削減 1,241
(化学物質)					
化学物質の管理推進			【行動目標】 化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
(自らが施工・販売・提供する製品及びサービス)					
環境に配慮した施工の推進			【行動目標】建設現場において、環境に配慮した施工を推進する。		

4. 次年度(令和6年度)の環境経営計画の取組内容

今年度は、引き続き昨年度まで取り組んできた環境活動の内容を踏まえながら、環境経営計画に取り組んでいきます。

表7. 令和6年度の環境経営計画の内容

【 本 社 】

環境目標項目	取 組 内 容
二酸化炭素排出量の削減 (電力の削減) (灯油の削減) (LPGの削減) (ガソリンの削減) (軽油の削減)	・ 不必要な照明の消灯励行。 ・ パソコン・コピー機エコモードの設定。 ・ 空調設備の管理の徹底（冷房28℃, 暖房20℃程度） ・ 扇風機・ブラインドの活用。 ・ エコ運転の励行。 ・ 適正な車輛整備の実施。 ・ 最大積載量に見合った輸送単位の設定。 ・ タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正を保つ。 ・ 低燃費車、ハイブリッド車への転換。
廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物の削減)	・ 会議用資料の簡素化。 ・ 両面コピー、ペーパーレス化等による紙使用量の削減。 ・ 使用済み用紙の裏紙の利用。 ・ 分別容器の設置とごみの分別の徹底。 ・ コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルの推進。 ・ P C 設定、部数の確認等によるミスプリントの削減。
水使用量の削減 (水道水の削減)	・ 節水表示を行い、節水を呼びかける。 ・ 水道配管からの漏水の定期点検。 ・ 蛇口の水漏れがないか確認する。 ・ 水道水を出しっぱなしにしたり、流しながら使用しない。 ・ 洗い物はまとめて行う。
自らが施工・販売・提供する 製品及びサービス (環境に配慮した製品使用の推進)	・ 再生材料から作られた製品の優先的な購入、使用。 ・ コピー用紙等の紙について、再生紙の利用の促進。 ・ 環境ラベル認定製品の優先的な購入、使用。

【 建 設 現 場 】

環境目標項目	取 組 内 容
二酸化炭素排出量の削減 （電力の削減） （灯油の削減） （LPGの削減） （A重油の削減） （ｶﾞｿﾘﾝの削減） （軽油の削減）	・排出ガス対策型建設機械の使用。 ・建設機械の各種点検整備の実施。 ・エコ運転の励行。 ・適正な車輛整備の実施。 ・最大積載量に見合った輸送単位の設定。 ・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正を保つ。 ・低燃費車、ハイブリッド車への転換。 ・不必要な照明の消灯励行。 ・パソコン・コピー機エコモードの設定 ・空調設備の管理の徹底（冷房28℃, 暖房20℃程度）
廃棄物排出量の削減 （産業廃棄物の削減） （再資源化率の増加）	・分別容器の設置とごみの分別の徹底。 ・廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理。 ・建設副産物の削減、再利用、分別、リサイクルに取り組む。 ・一般廃棄物が混載しないように定期的にチェックする。 ・廃棄物の中間処理場等を定期的に直接チェックする。 ・適切な建設廃棄物処理業者の選定。
水使用量の削減 （水道水の削減）	・節水表示を行い、節水を呼びかける。 ・水道配管からの漏水の定期点検。 ・蛇口の水漏れがないか確認する。 ・水道水を出しっぱなしにしたり、流しながら使用しない。
化学物質使用量 （化学物質の管理推進）	・建設現場における化学物質使用量は必要最小限とし、保管は原則行わない。 ・建設現場使用する有害性化学物質の流出防止対策の徹底。 ・S D S の発行依頼と内容の確認、保管。 ・化学物質の種類、使用量、PRTR物質等の管理。
自らが施工・販売・提供する 製品及びサービス （環境に配慮した製品使用の推進）	・建設現場における事前環境調査の実施及び対策の実施。 ・建設現場において、環境に配慮した施工の推進。 （排出ガス対策型、低騒音・低振動建設機械の使用等） ・再生材料から作られた製品の優先的な購入、使用。 ・重機・車両の定期点検整備の実施

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法等、環境関連法規（表 8）について遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、過去 3 年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題は有りませんでした。

表 8. 主な環境関連法規一覧

廃棄物・リサイクル	建設リサイクル法・廃棄物処理法
騒音	騒音規制法
振動	振動規制法
水質汚濁	水質汚濁防止法
化学物質	消防法
地球環境保全・省エネ等	フロン排出抑制法
大気汚染	大気汚染防止法
悪臭	悪臭防止法

IX. 代表者による全体評価と見直し・指示

環境経営目標の達成状況等の活動結果について、目標達成に至らない項目がありましたが、環境経営システムは特に問題は無く、環境経営計画への取り組み結果については成果が表れ、評価できる状況だと思われます。

今年度は新たに向こう 3 年間の中長期の環境経営目標を設定し、環境経営計画の更なる実施徹底を図り、実績データの推移を観察しながらデータの収集・分析を行い、環境経営目標の達成に向けて取り組み、全体評価と見直しについて行っていききたいと思います。

今後も全社をあげて環境保全活動並びに継続的な環境負荷の削減に取り組んでまいります。

代表取締役社長 畑 中 武 久